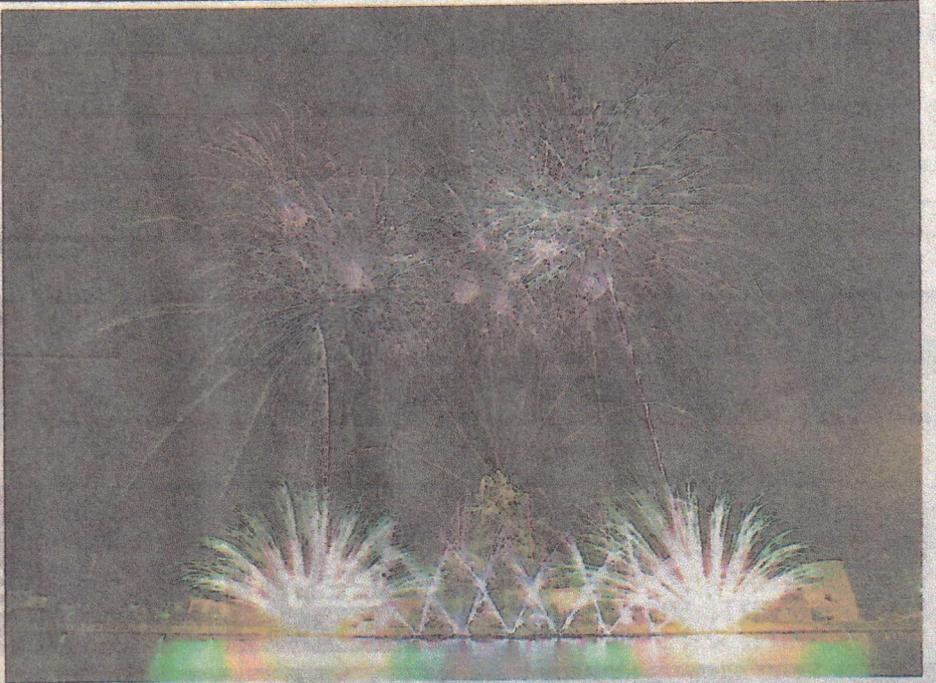


夜空に舞い上がった大輪が川面も鮮やかに染めた花火大会
 11日、新潟市中央区



新潟まつり花火大会 地震復興 大輪で後押し

新潟まつりの最終日を飾る花火大会が11日、新潟市中央区の信濃川河畔で開かれた。色鮮やかな大輪が夜空に次々と開き、港町の夏を彩った。

まつりの実行委員会によると、約34万人が訪れた。

続けざまに多彩な花火を打ち上げるスターマインや、よりダイナミックなワイドスターマインが繰り広げられるたびに、来場者から拍手や歓声が上がった。フィナーレを飾ったワイドスターマインには、元日に発生した能登半島地震からの復興の願いも込められた。

河川敷に響く音楽に合わせた「音楽花火」は、バーチャルアイドルの「初音ミク」とコラボレーションした特別仕様だった。拡張現実（AR）を活用し、スマートフォンをかざして初音ミクと花火を一緒に楽しむ人もいた。

新潟市西蒲区に帰省し、妻と娘の家族3人で訪れた富山市の団体役員田邊友也さん（40）は「花火が間近で見られて迫力があつた。川沿いの開けた景色と合わせ、とてもきれいだった」と笑顔で話した。

新潟まつり花火大会

新潟市中央区

新潟

大輪で後押しと復興の願いを込めた花火大会

本報記者の取材によると、新潟まつりの最終日を飾る花火大会が11日、新潟市中央区の信濃川河畔で開かれた。色鮮やかな大輪が夜空に次々と開き、港町の夏を彩った。まつりの実行委員会によると、約34万人が訪れた。続けざまに多彩な花火を打ち上げるスターマインや、よりダイナミックなワイドスターマインが繰り広げられるたびに、来場者から拍手や歓声が上がった。フィナーレを飾ったワイドスターマインには、元日に発生した能登半島地震からの復興の願いも込められた。河川敷に響く音楽に合わせた「音楽花火」は、バーチャルアイドルの「初音ミク」とコラボレーションした特別仕様だった。拡張現実（AR）を活用し、スマートフォンをかざして初音ミクと花火を一緒に楽しむ人もいた。新潟市西蒲区に帰省し、妻と娘の家族3人で訪れた富山市の団体役員田邊友也さん（40）は「花火が間近で見られて迫力があつた。川沿いの開けた景色と合わせ、とてもきれいだった」と笑顔で話した。

若い頃のように
 フクフク感ゼロ？
 テレビで杯の
 カンパキ